

# CLA-2000による避雷器点検方法

適応機種

NRR-TEL  
旧形式 VM-TL

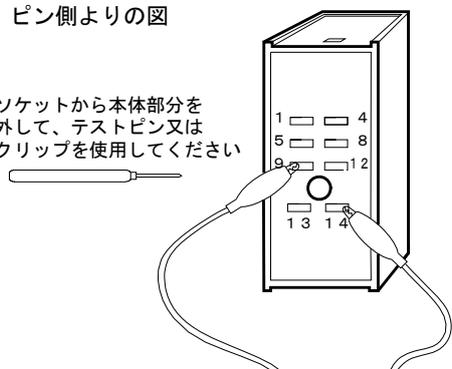
避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧（素子に1mAを流したときの電圧）を測定して判断します。

## ●端子配列と結線図

### 本体部

ピン側よりの図

ソケットから本体部分を外して、テストピン又はクリップを使用してください



赤色が+極

黒色が-極

図 1

動作完了表示

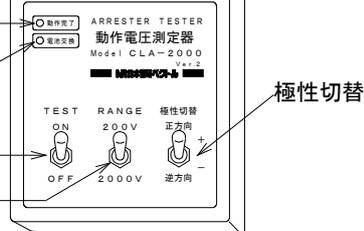
緑色点灯：計測終了

電池交換表示

赤色点灯：交換時期

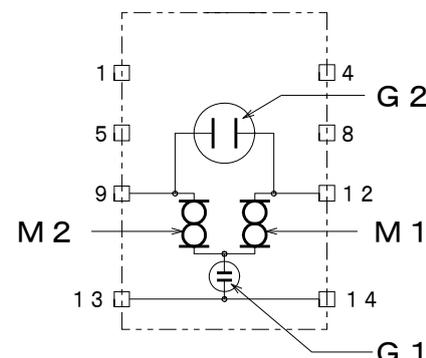
テストスイッチ

レンジ切替



### 本体部

ピン側よりの図



### 点検をおこなう前に・・・ご注意

- ① 接続ケーブルを切り離して行ってください。  
またはケーブル直結用アダプターをご用意ください。
- ② 感電にご注意ください。  
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ 新品交換待ちの場合  
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。
- ④ 試験回数につきまして  
直流による方式に付2～3回程度で終了してください。  
劣化の原因になることもあります。

### チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000は、1mA以下の電流制限つきです。  
制限を超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。  
数値はTESTスイッチをOFFにするまで表示します。

## ●素子の良否判定方法

- ① チェッカーCLA-2000を図1のように接続します。
- ② 測定する素子（MやG）の動作電圧に合わせてRANGE（レンジ）を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化（不良）と判定します。

<NRR-TEL避雷器> 旧形式 VM-TL

各素子	測定端子	端子番号 (無極性)	印加電圧 (レンジ)	確認内容	M○短絡時
G2	L1-L2間	12-9	DC2000V	376~564V DC 範囲内であること	—
M1	L1-E間	12-14	DC2000V	1000~1500V DC 範囲内であること	270V以下
M2	L2-E間	9-14	DC2000V	1000~1500V DC 範囲内であること	270V以下